

事務事業実績測定調書

R4調書番号 131

事務事業名称	国民健康保険保健事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	国民健康保険法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	国民健康保険運営協議会				
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加入者に健康増進の意識啓発を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	加入者に対する健康増進事業を行うことで、健康の保持増進が実現できている。				
事業概要	健康増進の意識啓発のために、啓発パンフレットやリーフレットの配布、骨密度測定や健康相談などを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
	国民健康保険加入者が、健康増進の意識を持つ。	健康増進の意識啓発事業に、多くの加入者が参加する。				健康増進の意識啓発事業を実施する。								
指標設定	指標説明	健康講座参加者の理解度 【算出式:アンケートにより「理解できた」と回答した人/アンケート回収数×100】				健康講座参加者数				健康講座開催回数				
		単位		%	単位		人	単位		回				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		100	100	100	100	160	160	160	160	2	2	2	2
達成度		0	96.90	93.20		0	71	133		0	1	1		
		93%				83%				50%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.90
再任用	0.00
任期付職員	0.22
会計年度任用職員	0.53
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,798	5,935	7,972		
	会計年度任用職員	1,780	1,459	1,742		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	10,578	7,394	9,714		
	物件費計	4,510	3,026	2,726	3,986	68.4%
	歳出計	15,088	10,420	12,440		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	4,691	174	2,726	2,934	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	4,691	174	2,726	2,934	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	2,852	0	1,052	

5. 総括的分析

総括的分析	午前中に骨密度測定会を実施し、市民を対象としている健康サポート講演会との抱き合わせでの健康講座を開催したことで、自身の健康に対する意識の向上を図るだけではなく、国民健康保険被保険者および市民に対し健康に関する周知啓発を行うことができた。また、専門職2名（専門医、理学療法士）による講座とすることで講座内容の充実化を図ることもできた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	健康増進に係る取り組みを継続していく。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	健康づくり推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	すべての市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各々が健康づくりに関しての種々の課題を持つが、第2次枚方市健康増進計画中間評価においては、「適正体重を維持する」ことが優先課題となっている			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	各種事業の実施 ①健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修(健康づくりボランティアの養成およびボランティアのスキルアップ) ②地区組織活動(健康ボランティアが中心となった健康づくり活動) ③健康増進計画推進事業(健康づくりを支援するためのイベントや取り組み・食育推進イベント)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				健康づくりボランティアとして活動するための知識を学ぶ機会となる。				健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修を実施する。			
指標設定	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				健康づくりボランティア数				健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	78	78	78	78	304	311	318	325	14	9	9	9
	実績	96	93.22	92.85		266	235	211		9	7	7	
達成度	119%				66%				78%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				地区組織活動を実施する。			
指標設定②	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				地区組織活動への参加者数				地区組織活動の実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	78	78	78	78	3,753	3,826	3,899	3,972	130	130	130	130
	実績	96	93.22	92.85		601	1,072	1,992		41	57	96	
達成度	119%				51%				74%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				健康増進計画推進事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				ウォーキングイベント参加者数				ひらかたカラダづくりトライアルマップ配付数			
		単位		%		単位		人		単位		枚	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	78	78	78	78	500	500	500	500	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	96	93.22	92.85		0	0	564		6,000	6,000	5,000	
	達成度	119%				113%				83%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.54
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.50

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	16,349	16,814	19,842		
	会計年度任用職員	785	71	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	91		
	人件費計	17,134	16,885	19,933		
	物件費計	1,725	1,664	5,642	7,993	70.6%
	歳出計	18,859	18,549	25,575		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	43	53	92	104	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	16	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	43	53	92	120	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	1,682	1,611	5,550	7,873	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症による影響はまだ続いているが、各種事業や地区組織活動への参加者数や実施回数などは増加傾向であり、ウォーキングイベントは3年ぶりの開催となったが、参加者数も目標値を上回った。各種事業やイベントを通して健康づくりに関する市民への啓発は推進できたと考えられる。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き健康づくりボランティア講座や地区組織活動、ウォーキングイベントの参加を促し、健康づくりに関する啓発を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	成人保健事業(がん対策事業除く)										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1983(S58)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	健康増進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	健康増進法の対象となる市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各世代や個人が抱える健康課題は多種多様であり、求める情報も様々である中、適切な情報の浸透が十分でない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病(がんを除く))について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	健康増進法第17条1項、第19条2による事業 健康手帳交付事業・健康教育事業・健康相談事業・訪問指導事業・住民健康診査事業				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が健康手帳を日々の健康づくりに活用する。				健康手帳交付事業を実施する。				
指標設定	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参				健康手帳交付者数				健康手帳作成数			
		単位		%	単位		人	単位		部			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	78	78	78	78	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
達成度	119%				67%				77%				
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				健康教育事業を実施する。				
指標設定②	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康教育参加者数				健康教育事業実施回数			
		単位		%	単位		人	単位		回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	78	78	78	78	3,527	3,596	3,665	3,734	130	130	130	130
達成度	119%				606%				97%				

ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が健康について相談を受ける。				健康相談事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康相談者数				定例・定例外の健康相談実施回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	4,000	4,000	4,000	4,000	136	136	136	136
	実績	96	94.08	92.84		420	571	1,336		288	437	591	
達成度	119%				33%				435%				
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が訪問指導を受ける。				訪問指導事業を実施する。			
指標設定④	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				訪問指導延べ人数				訪問指導実施回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	67	67	67	67	67	67	67	67
	実績	96	94.08	92.84		85	82	74		85	82	74	
達成度	119%				110%				110%				
ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑤		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が住民健康診査を受ける。				住民健康診査事業を実施する。			
指標設定⑤	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				住民健康診査40歳以上の受診率 【算出式:受診者数/対象者数×100】				実施医療機関数			
		単位 %				単位 %				単位 箇所			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	11.80	12.30	12.80	13.30	125	125	125	125
	実績	96	94.08	92.84		8	9.60	9.45		127	125	131	
達成度	119%				74%				105%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.41
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	14,355	11,786	12,890		
	会計年度任用職員	747	709	1,486		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,102	12,495	14,376		
	物件費計	8,749	10,099	11,222	12,000	93.5%
	歳出計	23,851	22,594	25,598		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	3,049	3,365	4,015	4,797	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	200	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,049	3,365	4,215	4,797	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,700	6,734	7,007	7,203	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響が少なくなったため、健康相談、健康教育の回数が増え、相談者数も増加した。住民健康診査受入れ医療機関も増加し、受診者も増加したが、40歳以上の対象者数が増えたことで受診率はほぼ横ばいの状況となっている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、健康相談、健康教育等の方法や回数の充実を図るとともに、生活福祉課や医療機関等と連携し、住民健康診査の受診率向上を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 151

事務事業名称	食育推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	食育基本法、枚方市食育推進計画				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市食育推進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	乳幼児から高齢者まで全ての市民			
	サブターゲット	生産者・教育機関・食品関係事業者等、食に関わる事業者			
	ターゲットが抱える課題	食に関する正しい知識の不足、食育を実践する人材の育成			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもから高齢者まで、一人ひとりが「食」に関する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけ、生涯にわたり健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するとともに、家庭・教育機関・地域・生産者等が相互に連携し、ネットワークを築きながら市民活動としての食育の推進に取り組む。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市食育推進ネットワーク会議を開催し、関係機関・団体の情報の共有と連携を図り、食育を推進する。 ・枚方市食育推進ネットワーク会議及び関係機関・団体と連携し、食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。				各家庭や教育機関、地域等で幅広く食育に関する取り組みが実践される。				枚方市食育推進ネットワーク会議と連携し、食育推進に関する取り組みを実施する。			
指標設定	指標説明	朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】				食に関する知識を啓発するための冊子「ひらかた食育Q&A」の実施数				枚方市食育推進ネットワーク会議の開催回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	0	0	12,000	12,000	12,000	12,000	3	3	3
	実績	-	6.60	6.20		10,836	10,650	12,700		2	2	2	
	達成度					106%				67%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。				多くの市民が食育に関心を持つ。				食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。			
指標設定②	指標説明	朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】				ひらかた食育カーニバル参加者アンケートで「食育に関心がある」と回答した人の割合【算出式:食育に関心があると回答した人/アンケート回答者×100】				ひらかた食育カーニバル参加者数(延べ人数)			
		単位 %				単位 %				単位 人			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	0	0	0	0	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000
	実績	-	6.60	6.20		0	96	98		0	32,175	19,009	
	達成度	0%				123%				317%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.82
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.32
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	12.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,153	15,085	14,218		
	会計年度任用職員	0	529	695		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	171	0	162		
	人件費計	15,324	15,614	15,075		
物件費計	3,254	1,736	3,999	5,534	72.3%	
歳出計	18,578	17,350	19,074			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	3,254	1,736	3,999	5,534		

5. 総括的分析

総括的分析	食育推進ネットワーク会議の活動として、ひらかた食育Q&Aや食育リーフレットを作成し、幼稚園・保育所（園）をはじめ、小中学校、地域コミュニティなど広く市民に配付を行った。また、枚方市食育推進計画中間評価に基づき、インターネットやSNSを活用し情報発信を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、調理や試食を伴う食育活動や多くの人が集まる講座が中止となっていたが、食育カーニバルについては、集合形式で講演会を開催し、特設サイト内で講演のアーカイブ配信をするなど、情報発信の方法を工夫し実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	デジタル化の推進など情報発信の方法を工夫し、多くの市民に食育への関心をもってもらえるよう、食育推進の取組を進めるとともに、食育推進計画最終評価及び次期計画策定事務を進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2008(H20)年度、2009(H21)年度 (人間ドック費用助成)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、枚方市国民健康保険被保険者人間ドック受診費用助成要綱				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者			
	サブターゲット	30歳以上40歳未満の国民健康保険被保険者			
	ターゲットが抱える課題	糖尿病等の生活習慣病に起因する有病者が増加している			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに着目した健康診査の実施および健診結果に基づく保健指導を実施している。 ・特定健康診査の対象者(40歳～74歳)について、特定健康診査の受診に代えて、人間ドックを受診した場合に費用の一部を助成する。※ 助成額 13,000円(特定健康診査項目の相当額) ・特定健康診査の集団健診(日曜日健診)での対象を30歳以上40歳未満にも拡充して実施し、生活習慣病のリスクがある場合は保健指導を実施。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。				特定健康診査の受診率が向上する。				特定健康診査の受診を勧奨する。			
指標設定	指標説明	生活習慣病の患者数				特定健康診査受診率 【算出式:受診者数/対象者数×100】				特定健康診査受診対象者数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	40	45	45	50	58,000	58,000	58,000	58,000
	実績	33,262	33,058	32,915		30.10	31.20	33.30		56,612	54,826	50,924	
達成度	106%				74%				88%				
ロジックモデル②		健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。				申請者に費用の一部を助成する。				特定健康診査の受診に代えて人間ドックを受診した場合に、費用助成の申請を受け付ける。			
指標設定②	指標説明	生活習慣病の患者数				人間ドックの受診に対する助成件数				人間ドックの受診に対する申請件数			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績	33,262	33,058	32,915		1,210	1,296	1,433		1,210	1,296	1,433	
達成度	106%				96%				96%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		健診受診により糖尿病等の生活習慣病の早期発見・重症化予防ができる。				特定保健指導の利用率が向上する。				特定保健指導の利用を勧奨する。			
指標設定③	指標説明	生活習慣病の患者数				特定保健指導利用率 【算出式:利用者数/対象者数×100】				特定保健指導利用対象者数			
		単位		人		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	35,000	35,000	35,000	35,000	60	60	60	60	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績	33,262	33,058	32,915		11.30	15.10	13.40		1,895	1,553	1,812	
	達成度	106%				22%				79%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.75
再任用	0.00
任期付職員	0.32
会計年度任用職員	1.90
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	20,143	19,194	15,041		
	会計年度任用職員	4,083	3,979	5,507		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	24,226	23,173	20,548		
	物件費計	244,829	250,978	254,913	328,467	77.6%
	歳出計	269,055	274,151	275,461		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	89,276	87,419	254,913	263,058	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	346	1,497	1,497	1,641	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	89,622	88,916	256,410	264,699	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	155,207	162,062	0	63,768	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響はまだ続いているが、受診率や人間ドック受診に対する申請件数の増加等、改善の兆しが見えてきている。 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上に向けて、今後も個別勧奨を続けるとともに市医師会との連携を強化していく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	引き続き健診の受診率向上や特定保健指導利用率の向上に向けて働きかけ、生活習慣病予防対策を推進する。

事務事業名称	歯科口腔保健推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	歯科口腔保健の推進に関する法律、健康増進法				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	歯と口腔の健康づくりに取り組むべき全市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	かかりつけ歯科医を持ち専門職による定期的な介入の必要性がある。また、日常生活でのセルフケアなど、歯と口腔の健康づくりに取り組む必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	<p>平成28年度より口腔保健支援センターを設置し、歯科口腔保健施策を総合的に推進する。</p> <p>○歯周病検診事業(委託) 対象:満35・40・45・50・55・60・65・70歳 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:500円(市民税非課税世帯・生活保護受給者は検診料免除)</p> <p>○後期高齢者歯科健康診査事業(委託) 対象:75歳以上の生活保護受給者 内容:問診、口腔内診査、咀嚼能力評価、舌機能評価、嚥下機能評価等 料金:無料</p> <p>○成人歯科健康診査事業(直営) 対象:1歳6か月児健康診査と2歳6か月児歯科健康診査受診の保護者 内容 問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:無料</p> <p>○在宅訪問歯科健康診査事業(直営) 対象:18歳以上で歯科健診を受診することが困難な方 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:無料</p> <p>○障害者(児)施設歯科健康診査(委託) 対象:障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設に入所・通所する障害者(児) 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導 料金:無料</p> <p>○障害児歯科健康診査 対象:乳幼児健康診査に来所が困難な重症心身障害児・肢体不自由児・医療的ケア児 内容:1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月の時期に、対象者の居宅又は保健センターにおいて、歯科診察・歯科保健指導・フッ素塗布・RDテスト(むし歯菌検査)を実施する。 料金:無料</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、集団健診については回数を増加し、1回あたりの対象者を減少させ密を避けて実施する。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				アウトプット (活動結果)	市民が歯周病検診を受ける。				インプット (活動)	歯周病検診事業を実施する。			
	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				歯周病検診受診率				歯周病検診実施機関数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	92	92	92	92	4	5	5	6	171	171	171	171		
	達成度	88%				116%				102%					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が枚方市後期高齢者歯科健康診査を受ける。				枚方市後期高齢者歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				枚方市後期高齢者歯科健康診査受診者数				枚方市後期高齢者歯科健康診査実施機関数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	20	20	20	20	117	117	117	117
	実績	71.30	87.20	80.60		1	5	14		173	137	139	
	達成度	88%				70%				119%			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が成人歯科健康診査を受ける。				成人歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				成人歯科健康診査受診者数				成人歯科健康診査実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	2,500	2,500	2,500	2,500	73	81	81	81
	実績	71.30	87.20	80.60		1,329	2,000	2,144		49	81	83	
	達成度	88%				86%				102%			
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が在宅訪問歯科健康診査を受ける。				在宅訪問歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定④	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				在宅訪問歯科健康診査受診者数				在宅訪問歯科健康診査実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	71.30	87.20	80.60		1	0	2		1	0	2	
	達成度	88%				100%				100%			
ロジックモデル⑤		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が障害児歯科健康診査を受ける。				乳幼児健康診査に来所が困難な重症心身障害児、肢体不自由児、医療的ケア児を対象とした障害児歯科健康診査を実施する。			
指標設定⑤	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				障害児歯科健康診査受診者数				障害児歯科健康診査実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	14	14	14	14	7	7	7	7
	実績	71.30	87.20	80.60		10	4	9		6	3	5	
	達成度	88%				64%				71%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が施設歯科健康診査を受ける。				障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設等に入所・通所する障害者(児)に対して、施設歯科健康診査を実施する。			
指標設定⑥	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				障害者(児)施設歯科健康診査受診者数				障害者(児)施設歯科健康診査及び歯科健康教育実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	215	215	215	215	32	42	42	42
	実績	71.30	87.20	80.60		161	211	191		19	24	26	
	達成度	88%				89%				62%			
ロジックモデル⑦		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				障害者の特性や対応など、さまざまな状態に応じた知識及び技術を得ることができる。				歯科医療技術者養成講座を実施する。			
指標設定⑦	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				養成者数				実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	24	40	40	40	4	4	4	4
	実績	71.30	87.20	80.60		0	0	17		0	0	4	
	達成度	88%				43%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	1.00
会計年度任用職員	0.54
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.50

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,232	5,921	5,842		
	会計年度任用職員	2,851	2,544	3,178		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	90		
	人件費計	11,083	8,465	9,110		
	物件費計	14,577	17,058	19,008	19,025	99.9%
	歳出計	25,660	25,523	28,118		
歳入	国庫支出金	5,105	5,154	5,734	5,734	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	3,919	3,993	4,870	5,952	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	9,024	9,147	10,604	11,686	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,553	7,911	8,404	7,339	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>受診勧奨を目的に作成した「受けよう歯科健診」ポスターの歯科医院での掲示やナッジ理論に基づいた圧着はがきによる個別通知等により、歯周病検診受診率は増加した。また、高齢者の歯科健康診査についても、啓発チラシを作成し、歯科医院や薬局での掲示及び地域包括支援センターや後期高齢者医療課の窓口などでチラシを配布したほか、生活福祉課と連携して生活保護受給者への受診勧奨を行い、受診者は増加した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた歯科医療技術者養成講座も再開した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>情報発信や受診勧奨方法の工夫など、健診受診率向上の取組みを進めるとともに、歯科口腔保健計画の最終評価及び次期計画策定事務を進める。また、乳幼児健診会場等にて、う蝕予防のための歯磨剤の普及やかかりつけ歯科医の重要性について啓発していく。</p>

事務事業名称	糖尿病性腎症重症化予防事業											
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	国民健康保険加入者で糖尿病性腎症の重症化が懸念される人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	健診結果や受診履歴から糖尿病性腎症の重症化のおそれがある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	糖尿病性腎症の重症化を予防する				
事業概要	特定健康診査結果から抽出された対象者に、医療専門職が主治医と連携のうえ、腎機能の維持・温存を目的とした個別的な保健指導(糖尿病性腎症重症化予防プログラム)を実施するとともに、プログラム修了者に対して事後フォローを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		糖尿病性腎症の重症化が予防される。				糖尿病性腎症の重症化が懸念される人の予防に対する意識が高まる。				糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。			
指標設定	指標説明	糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了者の内、HbA1c値が維持・改善できた者の割合【算出式:(※HbA1c維持者+改善者)/プログラム修了者数×100】 ※HbA1c0.3%以上減少を改善、HbA1c0.3%以上増加を悪化とする。				糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了後に、セルフモニタリングに関して行動変容した人の割合(無関心から関心に移行した人の割合)				糖尿病性腎症重症化予防プログラムの参加者数			
		単位 %				単位 %				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	70	70	70	70	100	100	100	100	30	30	30	30
	実績	82.30	73.70	78.90		100	100	100		34	25	23	
	達成度	113%				100%				77%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,178	3,185	3,943		
	会計年度任用職員	3,149	1,762	1,761		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,327	4,947	5,704		
	物件費計	5,214	4,263	3,930	6,387	61.5%
	歳出計	23,541	9,210	9,634		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	2,462	6,108	3,930	2,094	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	2,462	6,108	3,930	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	2,752	0	0	4,293	

5. 総括的分析

総括的分析	糖尿病性腎症の重症化予防のためには、継続した取り組みが必要であるため、今後もプログラム修了者に対しての継続サポートを実施するとともに、プログラム参加対象者への利用勧奨を行う等、糖尿病性腎症の重症化予防に努める。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き糖尿病性腎症の重症化予防のために継続したサポートを実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生活支援体制整備事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上の元気な高齢者から要支援認定者等			
	サブターゲット	高齢者に関わる近隣・地域住民			
	ターゲットが抱える課題	加齢とともに身体能力が低下し、関係性の貧困など社会的孤立から暮らしの中でのちょっとしたことが解決できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業者だけでなく民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と住民が連携しながら、つながりや助け合いなど多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。				
事業概要	「元気づくり・地域づくりプロジェクト」として、介護予防・生活支援サービス事業や介護予防事業等の事業内容や地域活動の支援策に対する意見交換や検討を行うため事業者と住民とで構成する市全域を担当エリアとする第1層協議体の運営、小学校区を担当エリアとする第2層協議体の設置及び運営支援を行う。あわせて、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を第1層協議体に配置し、第2層協議体への配置を支援し、第3層生活支援コーディネーターの養成と活動支援を行う。本市独自の生活援助訪問事業のサービス提供者である生活支援員の養成研修を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	「元気づくり・地域づくりプロジェクト」が推進され、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。				アウトプット (活動結果)	第2層協議体の設置が促進する。				インプット (活動)	第1層協議体を開催する。			
	指標説明	第2層協議体で実践するプラン達成率 【算出式: プラン数/達成したプラン数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である設置校区数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である開催回数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	100	100	100	100	40	42	43	44	3	3	3	3		
	実績	100	90	90		42	42	42		2	2	2			
達成度	90%				98%				67%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.64
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,484	11,314	12,812		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,484	11,314	12,812		
	物件費計	27,170	26,177	52,174	57,046	91.5%
	歳出計	38,654	37,491	64,986		
歳入	国庫支出金	1,014	9,058	17,861	17,924	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	5,680	4,529	8,930	8,961	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	10	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,132	3,791	88	505	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	9,826	17,388	26,879	27,390	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	17,344	8,789	25,295	29,656	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、第1層協議体は2回の開催となったものの対面開催ができた。第2層協議体では状況に応じて出来る範囲の工夫を実践されていた。生活支援員養成研修については、地域での開催を含め5回開催した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	全小学校区に第2層協議体が設置されるような働きかけを継続し、実際に取り組まれている事例や助け合い活動に発展した取組み等の情報を共有することで、継続した活動となるよう、それぞれの地域に応じた助け合いや支え合いなど地域づくりの支援を図る。

事務事業名称	介護予防・生活支援サービス事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン(国)、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	要支援認定を受けた者等			
	サブターゲット	介護事業者等			
	ターゲットが抱える課題	加齢等に伴う心身機能の低下により、日常生活を送る上で不自由や困難な状況がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	要支援者等の能力を最大限いかしつつ、要支援者等の状態等に応じたサービスが選択でき、状態の改善もしくは維持(悪化の防止)できるサービスを効果的かつ効率的に実施することで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	<p>【1.訪問型サービス】</p> <p>①予防訪問事業(現行相当サービス)、②生活援助訪問事業(A・基準緩和サービス)、③活動移動支援事業(B・住民主体サービス)、④通院等移動支援事業(D・移動支援サービス)</p> <p>【2.通所型サービス】</p> <p>①予防通所事業(現行相当サービス)、②教室型通所事業(A・基準緩和サービス)</p> <p>【3.その他の生活支援サービス】</p> <p>①リハ職訪問通所指導事業(自立支援サービス)、②リハ職行為評価事業(自立支援サービス)、③栄養士派遣指導事業(自立支援サービス)</p> <p>【4.介護予防ケアマネジメント】</p> <p>要支援認定者等の自立支援・重度化防止を目的に上記の事業を整備し、効果を分析・検証しながら効果的かつ効率的な事業実施に努めている。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	要支援者等が役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感する。				アウトプット (活動結果)	要支援者等がサービスを受ける。				インプット (活動)	サービスを設定し、実施方法(指定・直営・委託・補助)を決定する。			
	指標説明	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるリハ職訪問通所指導事業利用者の状態改善率(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定) 【算出式: 目標達成者数/事業利用者数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める事業費(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるサービスの種類(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	60	90	90	90	1,425,870	1,574,000	1,649,000	1,727,000	9	9	9	9		
	実績	94	93.50	98.75		842,870	872,895	864,570		9	9	9			
達成度	110%				52%				100%						

3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	1.29
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,092	8,957	10,077		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,092	8,957	10,077		
	物件費計	838,910	872,895	864,570	1,551,943	55.7%
	歳出計	848,002	881,852	874,647		
歳入	国庫支出金	350,170	357,682	352,986	467,349	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	138,764	141,945	146,781	196,282	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	260,490	267,809	260,126	327,589	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	749,424	767,436	759,893	991,220	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	89,486	105,459	104,677	560,723	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用量の減少があったものの、本市独自サービスについては感染拡大時には集団ではなく個別訪問にサービス内容を変更する等によりサービス提供体制を確保した。また、専門職以外の担い手(生活支援員)がサービスを提供している生活援助訪問事業の利用者数は年々増加している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	事業効果の分析・検証から、効果的かつ効率的な事業構築に向け、新たな事業の創設等、適宜、事業の見直しを行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護予防普及啓発事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢等に伴う心身機能の変化と日常生活への影響への対応に関する意識が低く、健康状態の悪化に伴い、生きがいや役割を喪失する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、つながりを持つことで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	<p>虚弱な高齢者(フレイル)を把握するため地域に出向いて健康相談を実施し、必要に応じて訪問指導を実施する。</p> <p>介護予防(フレイル予防)等に関する動機付けを目的とした単発の事業、外出や健康づくりの習慣化を目的とした事業を開催し、介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行う。具体的には各種講座を開催する高齢者健康づくりプロジェクト、地域で気軽に介護予防の意識づくりの場の開催を地域包括支援センター等に委託を行い実施している。また、介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法として検証を続けている商業施設や駅前の公園等でのイベント(健活フェスタ)を開催する。</p> <p>令和4・5年度は、PFS(成果連動型民間委託契約方式)を用いて介護予防に資する文化的活動を実践するグループの活動支援体制の構築を図る。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。				介護予防に関する基本的な知識が普及する。				介護予防に関する啓発事業を実施する。			
指標設定	指標説明	健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数/参加者全体数×100】				「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数				介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法である「健活フェスタ」の開催回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	60	60	60	25,000	25,000	25,000	25,000	1	1	1	1
	実績	85	74	73		5,273	8,357	14,024		1	1	1	
達成度	122%				56%				100%				
ロジックモデル②		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル②		介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。				対象者が訪問指導を受ける。				地域に出向いてフレイル(虚弱)な高齢者を把握する。			
指標設定②	指標説明	健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数/参加者全体数×100】				訪問指導延べ人数				健康相談実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	60	60	60	-	67	67	67	-	72	72	72
	実績	85	74	73		-	82	74		-	370	591	
達成度	122%				110%				821%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	5.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,085	10,921	9,374		
	会計年度任用職員	642	496	147		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	38	48		
	人件費計	11,727	11,455	9,569		
物件費計	35,064	24,346	34,305	66,382	51.7%	
	歳出計	46,791	35,801	43,874		
歳入	国庫支出金	14,058	9,979	14,604	19,335	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	5,757	3,960	6,072	8,119	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	10,824	7,697	10,872	14,091	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	30,639	21,636	31,548	41,545	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	4,425	2,710	2,757	24,837	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>更なる介護予防事業の推進を図るため、令和4年度から5年度の2か年にわたる本市独自の事業として、PFSを活用した「いくつになっても誰もが主役の介護予防事業」を開催した。</p> <p>オンラインでの教室等の拡充に取り組むことで介護予防教室等の参加者が増加した。また、健康相談の実施回数増加に伴い、継続的な健康づくりのツール(120日チャレンジ)を案内する機会が増えた。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	<p>教室や講座への参加者の増加にとどまらず、自主的に社会活動や健康づくりに取り組めるよう地域を基盤にした継続的な介護予防活動ができる支援体制に重点を置き、介護予防活動につながる新たなツールの検討や支援体制の構築等の取組みを推進していく。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 231

事務事業名称	地域介護予防活動支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)、第1号被保険者を中心としたグループ			
	サブターゲット	医療・介護関係機関			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、自主的な活動を支援することでつながりを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	健康講座や介護予防に関するボランティアリーダーを「生き生き健康スポーツレクリエーションリーダー」として、枚方市老人クラブ連合会と協力し養成のための研修を実施していたが、平成29年度から「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー講習に変更した。また、「ひらかた元気くらわんか体操」を自主的に週1回以上集まって実践するグループを増やし、継続するモチベーションを維持するための支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	「ひらかた元気くらわんか体操」の普及を通じて、高齢者のつながりが育まれる。	「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループが増加する。				「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー養成講座を開催する。							
指標説明	主観的健康感が良い人の割合 【算出式:主観的健康感が良い人数/参加者全体数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループ数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				「ひらかた元気くらわんか体操」を普及するリーダーを養成するための講座の開催回数				
	単位 %				単位 グループ				単位 回				
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	目標 (見込み)	30	30	30	30	190	300	310	320	3	3	3	3
	実績	85	90	94		301	292	292		3	3	1	
達成度	313%				94%				33%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,975	7,857	7,812		
	会計年度任用職員	0	143	80		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,975	8,000	7,892		
	物件費計	10,350	9,816	9,851	30,142	32.7%
	歳出計	18,325	17,816	17,743		
歳入	国庫支出金	4,183	4,024	2,642	3,261	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,713	1,597	1,595	1,615	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,214	3,011	105	132	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	9,110	8,632	4,342	5,008	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,240	1,184	5,509	25,134	

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍で集団での活動が困難となるなか、感染症対策が比較的とりやすいノルディック・ウォーキングの支援を進め、148グループとなるなど、グループ活動の支援に努めた。指標の達成度については概ね想定通りであった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	第3の介護予防ツール「ひらかた夢かなえるエクササイズ」を用いたグループ活動の支援体制を構築する。また、ノルディック・ウォーキング実践グループ（くらわんかウォーカーズ）とひらかた元気くらわんか体操実践グループの増加にも努める。

事務事業名称	後期高齢者の保健事業(一体的実施分)										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	~	年度まで
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	適切な医療、介護サービスや、必要な保健指導等の健康支援につながらないため、またフレイル予防や疾病予防等の健康支援が行われないために、健康寿命の延伸が図れず、住み慣れた地域で健やかに自立した生活がおそれがある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を行うことで、住み慣れた地域で健やかに自立した生活を送ることができる。				
事業概要	広域連合との委託契約に基づいて保健師等の医療専門職を配置し、一体的実施等の保健事業を行うために国民健康保険データベースシステム(KDBシステム)を活用し、医療レセプト・健診・介護レセプトのデータ等の分析を行い、一体的実施の事業対象者の抽出、地域の健康課題の把握、事業の企画・調整・分析・評価等を行う。 また、地域の関係機関と連携し、通いの場等への積極的な関与や個別訪問等の支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
		多くの後期高齢者が、適切な医療、介護サービスや、必要な保健指導等の健康支援をポピュレーションアプローチ(ハイリスクアプローチを含む)の機会につながる。	後期高齢者へ高齢者の特性や地域特性を踏まえた事業を実施する
指標設定	指標説明	アプローチが行えた後期高齢者数(延べ人数)	ポピュレーションアプローチやハイリスクアプローチを実施した圏域数
	指標種類	単位 人	単位 圏域
	指標数値	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	40 500 600	1 13 13
達成度	189%	100%	

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	7,857	7,812		
	会計年度任用職員	—	0	5,646		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	7,857	13,458		
	物件費計	—	115	9,865	9,483	104.0%
	歳出計	—	7,972	23,323		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	6,502	22,140	17,979	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	6,502	22,140	17,979	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	—	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	高齢者の生活習慣病対策・フレイル対策を目的とした高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、令和4年度からはハイリスクアプローチ（健康状態不明者等対策）およびポピュレーションアプローチ（通いの場等への積極的な関与等）を地域包括支援センターと連携しながら本市全域において実施した。ハイリスクアプローチについては他関係機関の協力もあり、943名の状況把握をすることができた。ポピュレーションアプローチについても市内全ての圏域で実施することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	地域包括支援センターや他関係機関と連携し、市内全域での取り組みを継続していく。ハイリスクアプローチ対象者を既存事業に繋げたり通いの場へ専門職が積極的に関与していくなど事業内容の充実を図ることで、フレイル予防の活動が自然と生活の中に取り入れられる環境の整備に努める。

事務事業名称	禁煙支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	2025(R7)年度
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称	禁煙支援事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	禁煙を希望する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	禁煙を持続して行うことが難しい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	禁煙する人の増加や望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりにより、市民の健康意識の向上や生活習慣病に罹患する人が減少する。				
事業概要	喫煙及び受動喫煙による健康被害を減らし、禁煙を促進するため、健康保険による禁煙外来治療費の補助を行う。禁煙を希望する人に対して、禁煙に向けたサポートを行う。禁煙希望者には事前に禁煙宣言を記入してもらい、禁煙達成後に費用の補助を行う。禁煙達成後、一定期間継続して禁煙が確認できた場合、さらにひらボを付与する。禁煙支援と合わせて、望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりを推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の喫煙率の低下				禁煙しようとする市民が増える				禁煙支援事業を実施する			
指標設定	指標説明	市民の喫煙率				禁煙支援事業受付者のうち禁煙達成者の割合				禁煙支援事業受付数			
		単位		%		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	11.50	11	10.50	10	80	96	96	96	100	120	120	120
実績	11	10.30	10.40		65	101	58		165	82	26		
達成度	101%				60%				22%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	8,773	6,128	5,859		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,773	6,128	5,859		
	物件費計	1,767	1,367	152	2,136	7.1%
歳出計		10,540	7,495	6,011		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,767	1,367	152	2,136	

5. 総括的分析

総括的分析	R3年6月から禁煙治療薬チャンピックス(バレニクリン)が出荷停止となっていることで、禁煙治療実施医療機関も減少し、禁煙支援事業の受付や禁煙達成者が減少している。世界禁煙週間(5/31～6/6)に合わせて、市のSNS発信や市役所で禁煙の啓発についての懸垂幕設置とともに、ひらかた健康優良企業において禁煙に関するリーフレットの配布などを行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、禁煙についての啓発に努めるとともに、禁煙治療の出荷再開時には禁煙支援事業の積極的な啓発を行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	がん対策事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法				
関係補助金名称	がん対策事業補助金、がん患者補整具購入費補助金(仮称)		サンセット	2023(R5)年度2022(R4)年度	～ 2025(R7)年度2024(R6)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民全般			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	がんについての正しい情報を得る機会が少なく、定期的ながん検診受診などの健康的な行動につながらない。また、がん患者やがん経験者は、様々な不安や困りごとなどの課題を抱えている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、がんになっても心豊かにいきいきと暮らすことができる				
事業概要	<p>○がんに関する知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> 無料クーポン券の送付を含むがん検診の受診勧奨時や、様々な機会を捉えての健康教育及びホームページやSNS等を通じての情報発信により、がんに関する知識の普及啓発を行う。 				
	<p>○各種がん検診等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進法に基づく検診の実施：大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診、胃がん検診、肺がん検診、肝炎ウイルス検診 市独自施策による検診等の実施：前立腺がん検診、ピロリ菌検査 各がん検診等について受診率の向上と共に、がん検診の質の維持向上を目指す。 				
	<p>○がん患者補整具購入費助成事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> がん治療の副作用等による外見上の変化に伴う精神的なストレスや、通学・仕事を続けることへの不安の軽減及び、治療等に伴う経済的負担の軽減を目的として、抗がん剤等の使用に伴う外見変貌への補完となる、ウイッグ等の補整具購入費の一部助成を行う。 地域がん診療拠点病院及び大阪府がん診療拠点病院のがん相談支援センターとの連携を図り、がん患者やその家族のニーズ把握を行い、求められる支援について検討していく。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が大腸がん検診を受ける				大腸がん検診を実施する			
指標設定	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				大腸がん検診受診率(職場等で実施されているものを含む)				大腸がん検診の実施医療機関			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		77	77	77	77	11.3 (40)	11.3 (40)	11.3 (40)	11.3 (40)	144	144	144	144
	実績	68.90	73.10	79.30		8.60	8.90	9.09		148	144	144	
	達成度	103%								100%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が乳がん検診を受ける				乳がん検診を実施する			
指標設定②	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				乳がん検診受診率				乳がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	22.1 (45)	22.1 (45)	22.1 (45)	-	8	8	8
	実績	68.90	73.10	79.30		10	9.20	9.52		-	8	8	
	達成度	103%								100%			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が子宮頸がん検診を受ける				子宮頸がん検診を実施する			
指標設定③	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				子宮頸がん検診受診率				子宮頸がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	29.3 (45)	29.3 (45)	29.3 (45)	-	16	16	16
	実績	68.90	73.10	79.30		13.40	13.30	13.33		-	16	17	
	達成度	103%								106%			
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が胃がん検診を受ける				胃がん検診を実施する			
指標設定④	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				胃がん検診受診率				胃がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	6.6 (40)	6.6 (40)	6.6 (40)	-	50	50	50
	実績	68.90	73.10	79.30		3.50	2.60	2.91		-	45	48	
	達成度	103%								96%			
ロジックモデル⑤		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が肺がん検診を受ける				肺がん検診を実施する			
指標設定⑤	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				肺がん検診受診率				肺がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	13.3 (40)	13.3 (40)	13.3 (40)	-	130	130	130
	実績	68.90	73.10	79.30		9.40	9.70	10.24		-	131	132	
	達成度	103%								102%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が肝炎ウイルス検診を受ける				肝炎ウイルス検診を実施する			
指標設定⑥	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				肝炎ウイルス検診受診者数				肝炎ウイルス検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	7,000	7,000	3,500	-	150	150	150
	実績	68.90	73.10	79.30		6,780	6,133	5,427		-	150	149	
	達成度	103%				78%				99%			
ロジックモデル⑦		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民が前立腺がん検診を受ける				前立腺がん検診を実施する			
指標設定⑦	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				前立腺がん検診受診率				前立腺がん検診実施医療機関数			
		単位		%		単位		%		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	10.50	10.50	10.50	-	153	153	153
	実績	68.90	73.10	79.30		8.90	9.20	9.68		-	153	152	
	達成度	103%				92%				99%			
ロジックモデル⑧		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				市民がピロリ菌検査を受ける				ピロリ菌検査を実施する			
指標設定⑧	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				ピロリ菌検査受診者数				ピロリ菌検査実施医療機関数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77	-	1,800	1,800	1,800	-	130	130	130
	実績	68.90	73.10	79.30		886	1,339	956		-	121	127	
	達成度	103%				53%				98%			
ロジックモデル⑨		市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				申請に対して、補助金を交付する。				補助金を必要とする対象者が申請する。			
指標設定⑨	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】				交付件数				申請件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	77	77	77	77			205	205			205	205
	実績	68.90	73.10	79.30			174				174		
	達成度	103%				85%				85%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.23
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.74
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,153	20,978	17,421		
	会計年度任用職員	155	642	1,351		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,308	21,620	18,772		
	物件費計	386,268	401,010	413,162	448,465	92.1%
	歳出計	401,576	422,630	431,934		
歳入	国庫支出金	3,332	3,270	3,374	2,975	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	22,171	21,690	18,010	21,728	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	25,503	24,960	21,384	24,703	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	360,765	376,050	391,778	423,762	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響はまだ一部続いているが、検診の必要性について市民へ啓発できたこと、感染症対策を講じて検診を止めることなく実施できたこともあり、受診率は令和3年度に比べ概ね向上した。精密検査受診率についても令和2年度に比べ3年度も向上した。（令和4年度の精密検査受診率の算出は令和6年度）
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	がん検診の啓発について、啓発内容・方法についてより効果的な方法を検討していく。また、一部対象者にリコールを実施するなど、受診率の向上を図るとともに、検診の精度管理及び精密検査受診率の向上に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 252

事務事業名称	高齢者居場所支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2005(H17)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市高齢者居場所づくり補助金交付要綱、枚方市街かどデイハウス事業補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市街かどデイハウス事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上の高齢者、65歳以上の高齢者を中心としたグループ			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の中で自由に集い、交流することができる場所を増やすことで、社会参加や介護予防活動につながり、助け合いや支え合いの活動へ発展することにつながり、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	平成29年8月から高齢者居場所づくり事業として、居場所の登録と公開、実施場所の改修費用等の一部についてお達者基金を財源として補助金交付を実施している。なお、平成17年度から平成28年度までは、お達者基金を活用し、「自分できょう健康ライフ事業」として広報ひらかたで実施事業者を公募し、事業者の企画について、目的や内容を選定部会で審議の上、実施事業者を選定。選定された企画内容のうち講師謝礼の費用を市が負担することで介護予防教室の実施を支援していた。また、高齢者居場所や街かどデイハウスなど、多様な高齢者の通いの場を支援する事業として実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		高齢者の社会参加や介護予防が促進する。				高齢者居場所の周知により、活動が活発化また継続する。				高齢者の通いの場である高齢者の居場所を把握し、周知する。			
指標設定	指標説明	通いの場への参加率 【算出式:通いの場への実参加者数/高齢者人口×100】				活動実績を求める高齢者居場所と街かどデイハウス事業の延べ参加者数				活動を把握したうえで、公開の同意を得た場所の数			
		単位		%		単位		人		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	6	8	8	8	100,000	110,000	110,000	110,000	100	120	120	120
	実績	6	5.70	5.86		61,996	56,192	86,037		116	111	110	
	達成度	73%				78%				92%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	1.03
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,214	8,093	8,046		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,214	8,093	8,046		
	物件費計	31,295	32,652	32,180	44,000	73.1%
	歳出計	39,509	40,745	40,226		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	31,295	32,652	32,180	44,000	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高齢者居場所等では活動自粛や、再開に向けた感染対策の検討など手探りの中での取組みとなったため、活動が継続できるよう支援した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	自主的な活動が継続することで活動の拡充や発展につながるため、新しい生活様式を踏まえ、活動が継続できるよう支援していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 920

事務事業名称	健康づくり・介護予防課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康づくり・介護予防課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当に在籍する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健康増進・介護予防担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	7,975	7,857	7,812		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,975	7,857	7,812		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	7,975	7,857	7,812		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	課の文書・人事・財務その他庶務事務の総括、課の予算編成及び執行管理を適切に実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も適正かつ効率的な執行に努める。